

# 曙フーズ株式会社 栃木工場

## ～ 企業と地域～

下野市の木「けやき」にちなんで名付けられたご当地銘品「下野けやき」という米菓や和菓子をご存知の方もいるかと思いますが、曙フーズ株式会社栃木工場は、下野市下坪山工業団地に立地して30年が経っています。本社は東京日本橋にあり、栃木工場では米菓類とお菓子類の大きく2つのラインを保有し、ここで製造された商品は全国80店舗に出荷されています。



曙フーズ(株) 栃木工場・直営店舗

曙フーズ株式会社栃木工場は、旧南河内町時代からご当地ブランドを製造するなど、行政や地域との繋がりは深く、5月30日のゴミゼロの日には下坪山工業団地の掃除をしたりして、市民の一員としても主体的に地域づくりに参画してきました。

その一つとして、道の駅しもつけにテナントを出店しているほか、地元の人に親しんでもらうために、平成22年に栃木工場内に直営店をオープンさせています。

また、毎年グリーントウン地区で開催されるエコライフまつりに第1回から模擬店を出店し、下野市産業祭にも出店しています。

さらに、市内外から2000人のランナーが参加する天平マラソン大会に協賛品を提供し協力しています。

ほかにも、工場に近い栃木県立小山北桜高校や、下野市立南河内中学校の生徒の職場体験授業の受け入れ先としても協力したり、近隣小学校の社会科見学として工場見学も行われています。また、自立支援・雇用対策として、栃木県立国分寺特別支援学校卒業生の就職先の窓口を担っていきたいというお話も伺いました。

これからも化学調味料の使用を抑えた、おいしいお菓子の提供をする地元企業として、行政や地域との協働作業が期待されます。



つながッテルね!  
条例15条

自治基本条例では、市内に住む人、働く人、学ぶ人及び事業者、これら全てを市民と定めています。地域社会の構成員である事業者が、公益的な活動を行うことで地域づくりに関わっている事例です。  
**第15条(事業者の権利及び責務)** 事業者は、地域社会を構成する一員として、社会的責任を認識し、自然環境及び市民生活に配慮した事業活動を推進するとともに、公益的な活動への積極的な参加及び地域社会づくりに寄与するものとする。